

進路だより

平成30年3月8日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第3号
29学内 第265号

進路講演会「障害年金の現状と役割」

～手続きから認定まで～

12月14日、震明社会保険労務士事務所 震明 裕子氏をお招きし、「障害年金の現状と役割～手続きから認定まで～」というテーマで進路講演会を行いました。内容は盛りだくさんでしたが、震明さんの流れるような口調と和やかな雰囲気の中で説明が進んでいきました。「障害年金の仕組み」のところでは、社会保障制度のひとつであり、障害年金を受けるためには3つのハードルがあるなど、金額も提示して頂きながら具体的な説明がありました。また、請求のポイントは、「日常生活でできないことや困っていることを具体的に伝えること」と仰っていました。

まとめでは、【1. 日常生活で援助していることを意識してみる。2. 就労の状況について知る。3. 福祉と繋がる。4. 家族会など親同士と情報を交換しあう。5. 改正に注意する。6. インターネットの情報を鵜呑みにしない。7. 自分で手続きを行うのが難しい、不安と感じたら、専門家(社会保険労務士)に相談する。】とのことでした。来年度も、保護者様からの要望をお聞きしながら講演会の内容を検討していきます。

～～保護者の感想～～

- ・ 日常生活の話聞いて、食べられる、服を着られるなどだけでないの聞いて、お金なども入ってくるのだと知らなかった事や考えつかない事がたくさん聞きました。
- ・ 障害年金の事は全く知識として無かったので、学ぶ機会を持って頂けてありがとうございました。
- ・ 手続きが大変だと聞いていて、不安が大きかったのが具体的に教えていただき、とても参考になった。
- ・ 小学部なので、まだ先のことかとは思いましたが、早い内に色々勉強できる機会ができてよかったです。実際に必要となった時に1からお話を伺っても、なかなか理解、納得できるか不安もありましたが、今回講演をお聞きして事前準備ができたように思います。ありがとうございました。



祝！新成人。卒業生5名がつどいに参加

1月13日(土)枚方支援学校で「第17回北河内成人のつどい」が開催されました。昨年は交野ゆうゆうセンターでしたが、今年は場所を変更し、午前の部、午後の部の2部制での開催となりました。一昨年に交野、寝屋川、守口、東大阪、そして枚方支援学校第一期生の支援学校を卒業された新成人の皆さんが集い、同志社大女子チアリーディング部からのお祝いのエールで始まりました。本校卒業生も5名の方が参加し、仲間との再会に微笑みながら楽しいひと時を過ごしました。新成人の紹介コーナーではテーブルごとに壇上に上がり、成人を迎えた心境や将来の夢などを語りました。また、旧担任の長尾先生から心温まるお祝いメッセージも届いていました。後半はNEYOバンド(元寝屋川支援学校教員等)による音楽演奏、歌唱を楽しみました。みんなが知っている歌が多くあり、みんなで合唱し盛り上がっていました。新成人として新たな門出を胸に誓う、思い出に残る一日になりました。



～春をよぶみんなのコンサート♪～

2月24日(土)門真市民文化会館ルミエールホールで「第28回春をよぶみんなのコンサート」が開催されました。今回は地域生活総合支援センターいまが初参加となり、北河内の福祉施設・事業所や支援学校から参加し、それぞれの趣向を凝らした楽しいパフォーマンスを披露しました。本校からは高等部の音楽クラブの生徒達を中心に迫力ある和太鼓演奏「走り火太鼓」を披露し、カラオケコーナーにも生徒が1人出演しました。また今回は、本校が司会(1名)も担当し「堂々とした立派な司会進行！」と次回も続投の声があがるほど好評でした。ゲストには、各地で活動をされているアフリカンマリリンバアンサンブル「ジョセフ・ンコシ」&「トモミ」による「ンコシ・アフリカ」が手作りの木琴に歌を織り交ぜ、オリジナル曲やアフリカ伝統曲で会場を盛り上げてくれました。パナソニックエコソリューションズ吹奏楽団の演奏も素晴らしく、総勢100名以上のボランティアの方々に支えられて、最後までワクワク感いっぱいの楽しいコンサートとなりました。来年は平成31年2月23日(土)に開催予定です。一度是非ご来場ください。



今年度の進路相談・指導を振り返って

平成29年度 中学部卒業生の進路先予定 (平成30年3月8日現在)	総数	守口市在住	門真市在住
守口支援学校	12	12	
寝屋川支援学校	7		7
	19	12	7

※守口支援、寝屋川支援については3/19受検予定のため入学見込み数

平成29年度卒業生の進路先		総数	守口市在住	
			男	女
桜の園 (生活介護)	守口市	1	1	
オールケア大日 (生活介護) ※併用		0.5	0.5	
オールケア守口 (生活介護) ※併用		0.5/0.5	0.5/0.5	
センターケア (生活介護) ※併用		0.5/0.5	0.5/0.5	
地域生活総合支援センターいま (生活介護)		2	1	1
ういず守口 (生活介護)		1		1
アルジス (就労継続支援B型)		1	1	
くらし工房けいはん (就労継続支援B型)		1		1
ハンズ守口 (就労移行)		1	1	
ぷらす守口市駅前 (就労移行)		1		1
クローバー (就労移行)	門真市	3	3	
ジェイ・エス ステージ (生活介護) ※併用		0.5	0.5	
こもれび (生活介護)		1	1	
グレース工房 (就労継続支援B型)		1		1
ほにいず (生活介護)		1	1	
ワークネットつるみ (就労継続支援B型)	他市	1	1	
アートコーポレーション株式会社	企業	1	1	
佐竹食品株式会社		1		1
株式会社ライフコーポレーション		2	2	
株式会社アークミール ステーキのどん		1	1	
未定		1	1	
22期生		24	17	7

「福祉就労関係」

今年度も高等部3年生の進路実現にあたり、生徒や保護者の方と共に「日中活動の場」となる福祉事業所に訪問しながら情報交換や相談・調整に努めました。また、地域の各障害福祉専門部会（運営会議、通所サービス部会、相談支援部会、就労支援部会など）に進路担当者が参加しながら本校の進路ニーズの発信や新たな仕組み作りに取り組むことで、上記進路先一覧の結果となりました。支援学校卒業後すぐに就労継続支援B型を利用する際に必要となる在学中の就労アセスメント

など、障害者総合支援法に基づく新たな動きが展開される中、支援学校での進路相談や進路学習、現場実習のあり方も検討していく必要があります。

計画相談については、守口市相談支援部会や障害福祉課と基本的な体制をつくり、一定の仕組みが出来上がっています。併行して在学中の障害児相談支援の利用者も増えてきており（放課後等デイなど）、高等部進学以前から、本人保護者と相談支援員との密な相談をされているケースがほとんどです。また、就労アセスメントについては、今年度から守口市障害福祉課が年度当初からの地域調整をし、就労移行支援事業所の就労に関するアセスメントを8件実施し、生徒の進路学習の積み上げや職業適性の見極めに結びつけることができました。

このように刻一刻と変化する障害福祉サービスに適応した進路相談体制を、今後も地域や家庭と連携しながら更に築いていきたいと考えています。

「企業就労関係」

本校高等部ではコース制を展開しながら両コースの学習に企業実習や作業学習を組み込み「働きたい！」という意欲や姿勢を実践的に育んでいます。このような学習の積み上げをベースに、今年度も左表のとおり、職業コースの生徒4名と生活自立コースの生徒1名が企業就労となりました。就職がゴールではなく職場定着が大きな目標ですので、職業コースでは生徒自身が2年次までの学習を通して、自分に適した働き方を考えた上で3年生を迎えるカリキュラムになっています。また、生活自立コースについても、個々の課題に合わせた学びを校内で行い、適切なタイミングでの企業実習を設定しています。もちろん担任や進路担当も十分なアセスメント（実態把握・評価）をしながら個々の生徒にマッチングした働き方を共に考え、職場開拓に努めています。

また、本校では地域の就労支援機関であるハローワーク門真に年度当初の学校訪問で生徒と面談をして頂いたり、長期実習前の事前・事後学習で専門的な視点からのアドバイスを受けています。北河内西障害者就業・生活支援センター わーくぷらすに「働く上で大切なこと」というテーマで後期現場実習前後に授業をして頂いております。「将来にわたって長く働き続ける就労」の実現のためには、生徒本人が在学中に就労に向けた力や意識をキャリアアップしていくのはもちろんですが、このような卒業後の地域での支援体制も欠かせません。本校校区が障がいのある方の就労支援について意識が高く、支援体制が整備された地域であることは本当に心強く、有り難いことです。

今後も安定した職業生活自立の実現に向け、引き続き、ご家庭のサポートもよろしくお願い致します。

22期生の皆さん！ ご卒業おめでとうございます。

この一年間、進路実現に向けて一緒に取り組んできましたが、いよいよ社会参加の第一歩を踏み出す時が来ましたね。それぞれの進路先での新たな出会いを大切に、自分らしく頑張ってください。

それでは卒業生の皆さんの新天地でのご活躍を期待しております。次回は進路先で“笑顔”でお会いしましょう！

「物語はここからはじまるのだ！」（手塚治虫より）

（進路担当 古賀稚基／山下久枝）